

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R) 中間評価結果

COC+R 大学名	山梨県立大学
事業名	VUCA時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム

【総括評価】

A: 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・事業を進めるにあたり、トップにより構成する「地方創生人材教育協議会」、事業のチェック組織「事業評価委員会」、実質的な検討組織である「事業実施委員会」、教育プログラムの企画運営を行う「プログラム検討委員会」等が組織され、実施体制が確立され目標の達成に結び付けている。
- ・開設プログラム数、受講者数で目標を達成しており、受講者数では、2倍以上の成果を出している。
- ・山梨県総合計画の重点政策を踏まえたプログラムは、何れも計画通り実施されているが、県における起業・創業に関する施策に機敏に対応し、前倒し開講を行った。
- ・プログラムに「PENTAS」と通称名をつけ、学生間に浸透しやすくしている。また、事業のイメージを印象付けるためにロゴマークを作るなどわかりやすい情報発信に努めている。
- ・複数ユニットの受講が可能で、修了証の授与など、学生の受講意欲を引きだせる体制としている。
- ・多彩な実務家教員の登用により、専門的な学びの場を構築しており、現場や地元を知る機会の創出と共に、学生の地域への愛着につなげている。
- ・実務家教員に対するFDも組織的に進められており、教育の質保証についても配慮されている。
- ・教育プログラムを受講した学生からは、在学中に社会とのつながりができ、能動的な学びを通じて自身が成長できた等、多数の肯定的な意見があり、関係者の努力が実を結んでいる。

<改善を要する点>

- ・プログラムの開講日が重なり、受講できない学生がいるので、機会を失うことがないような設定が必要である。